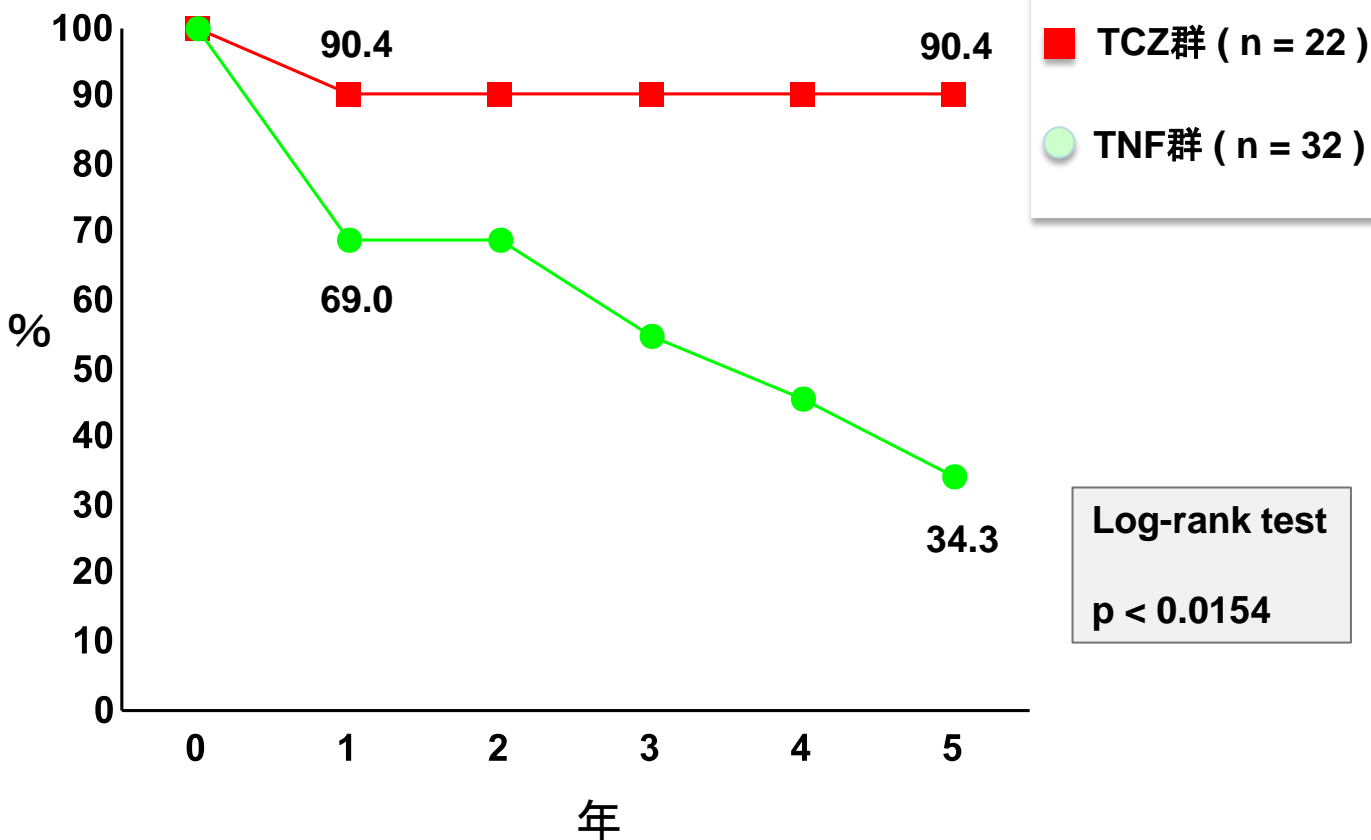


リウマチ性疾患に合併するAAアミロイドーシス に対して抗IL-6レセプター抗体療法(TCZ)は抗 TNF療法(TNF)より高い臨床的有用性を認めた。

研究分担者： 道後温泉病院リウマチセンター 奥田恭章

TCZ及びTNF inhibitorの継続率の比較 (Kaplan Meier)



解 説

1. TCZ群はTNF群に比較して有意に高い5年継続率を示した。
2. SAA値の推移 ($\mu\text{g/dl}$)は、TCZ群(219.2→5.0)、TNF群(143.6→38.1)とTCZ群で有意の低下を認めた($p < 0.0194$)。
3. eGFR($\text{ml/min}/1.73\text{cm}^2$)の変化は、TCZ群(41.6→50.7)、TNF群(76.3→67.4)でTCZ群で有意の改善を認めた($p < 0.0062$)。